

第1回生徒サポート部会 協議議事録

豊かな人間性

挑戦する意欲

持続可能な社会を担う力

《これからの社会をたくましくしなやかに生き 活躍することのできる力を育むために》

1 昨年度の協議内容（振り返り）

- ・生徒支援に向けた具体的な取り組みとして①生徒②保護者③教職員④学校体制・仕組みについての4点について働きかけが可能ではないか。
- ・具体的に本校生徒と大学生（北星学園大）との関わりができる企画を検討する。一部の生徒向けではなく、学年や学校単位で交流の場をつくりたい。
- ・特別支援教育についての講演会（PTA との共同開催等）を企画する。

2 今年度の予定や内容等

（生徒の心をはぐくむ取り組み、学校として行っていることの紹介、地域や学生を巻き込んだ心をはぐくむアプローチについて）

- ① 大学生と高校生の交流（コミュニケーショントレーニングの一環）の実施について。
 - ・全校または学年単位で SST や P サボなどを企画してはどうか
 - ・内容によって、場所を体育館や学級とする。グループ単位に支援する大学生を配置。
 - ・この企画を行うには、学生に準備が必要。心構え、主旨（何を求められているか）、役割（より明確なもの）、高度でないもの（現在の大学生も年々指導の必要性が高まっている）を提案することで大学生にとっても役に立てたと感じられるものになる。
 - ・事前アプローチをしっかりと行った方が良い。
 - ・大学生の参加については北星学園大学、北翔大学、札幌学院大学、北海道情報大学などが可能か？ 札幌学院大学内ではボランティアサークルに約 50 名所属があり、活動の場を広めたいと考えている団体がある。
 - ・福祉系大学生の実習時期は8～9月。実施するなら11月頃が良いのではないかな。
- ② 講演の実施について
 - ・多様な生徒との接し方、対応で苦慮されているのではないかな、また保護者との対応について苦労されている先生方が多いのではないかな。
 - ・今回は保護者を巻き込んだ共同開催ではなく、先生方が困った場面を話せる、事例検討も交えた講演会を企画してはどうか。
 - ・支援に関して、次へ繋げる関わりとして“相談支援事業所”の管理者様からの講演はどうか。最近市教委とも連携する機会が多く、学校での困り感に対応されている。
 - ・実施時期については学校の都合に合わせることが可能。講師への対応は佐々木 PTA 会長がすることも可能である。

3 年間のスケジュール

- 次回の予定 5～6月頃に第2回目の会議を実施したい。
- ・今回の検討内容を大友先生に報告後、日程について相談。
- 年間予定 5～6月 第2回生徒サポート部会
- 時期未定 大学生への事前指導
- 11月 本校生徒と大学生との交流会
- 時期未定 教職員研修

活動のねらい

生徒サポート 活 動 内 容

- ・生徒の自己指導力や自己肯定感の向上のため、心身の健康及び安全に係る活動について助言や支援を行う。
- ・生徒の社会的自立に向けた効果的な教育活動の在り方について助言や支援を行う。
- ・支援を要する生徒への効果的な対応について、地域と連携した取り組みについて助言や支援を行う。